

平成15年度春期 情報処理技術者試験

テクニカルエンジニア（システム管理） 所見

全体的な傾向は、典型的なシステム管理者向けの問題であり、適切な難易度の問題であった。現場で、運用管理を担当しているエンジニアには、かなり取り組みやすかったものと思われる。また、テキスト運用管理技術を学んだ方も、大半が正統的な問題のため、十分に対応できる問題であった。

【午 前】

際立って難しい問題や易しい問題がなく、適切な難易度の良問であった。テーマ面では、TCP/IP やインターネット環境でのネットワーク、セキュリティ面の問題が目立った。最近話題の個人情報保護の問題も出題された。

【午 後 】

各問とも極端に易しくもなく、極端に難しくもない問題であった。問1, 2, 4はネットワークを柱にした事例で、障害管理を中心にした問題であった。事例は異なるがどれも似た着眼点の問題であった。問3は、待ち行列理論の計算問題で、この問題だけ趣が異なる。待ち行列理論の公式をきちんと勉強していれば難しい問題ではないが、取り組みにくい問題であった。

< テーマ >

- 問1 システム変更時の障害管理について
- 問2 ネットワークの障害管理について
- 問3 キャパシティ管理について
- 問4 システム管理について

【午 後 】

各テーマとも、オーソドックスなシステム管理エンジニアには、大変取り組みやすい問題であった。各問とも問題テーマがピンポイント的ではなく、広い範囲で書けるよう工夫されていた。問3の施設管理の問題は、過去に出題されていない。

< テーマ >

- 問1 情報システムの運用効率向上について
- 問2 セキュリティ侵害への対応策について
- 問3 コンピュータ室の施設管理について

以上